

(様式2)

公の施設の指定管理者制度導入施設の管理運営状況調書【対象年度:令和7年度】

所管部・課	観光文化スポーツ部 観光課
指定管理者	田沢湖高原リフト株式会社

1 施設名等

施設名	仙北市縄文の森交流広場	施設の所在地	仙北市田沢湖田沢字潟前63番2
-----	-------------	--------	-----------------

※ 仙北市縄文の森交流広場は「田沢湖オートキャンプ場」を構成する施設の一部です。

2 施設の概要

設置年月	平成16年4月	根拠条例等	仙北市縄文の森交流広場条例
設置目的	豊かな自然の中で住民が自由時間を利用して行う観光レクリエーション活動を図るため		
施設内容	縄文コテージ5棟、工房の館1棟、展望台1棟		
利用料金	縄文コテージ3,140円、入場料 大人500円 子供250円		

3 指定期間・選定方法

指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:1)・非公募(随意指定)

4 収支の状況(決算ベース)

※財源内訳(①指定管理料のみ ②指定管理料+利用料金収入 ③利用料金収入のみ)(単位:千円)

項目/年度		令和6年度	令和7年度	項目/年度		令和6年度	令和7年度
収入	指定管理料	0	0	支出	維持管理費	963	1,025
	利用料金収入	888	776		事業費	0	0
	その他	0	0		その他	15	20
収入合計 ①		888	776	支出合計 ②		978	1,045
収支差引(①-②)						-90	-269

※臨時的経費除く。

5 指定管理者の業務内容

- ・施設及び設備の維持管理に関する業務
- ・キャンプ場利用お客様の予約
- ・受付及び利用料金に関する業務
- ・上記業務に附帯する業務

6 利用実績等(田沢湖オートキャンプ場施設全体での利用実績等)

(1)利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】(単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度(A)	180	683	529	1,185	2,454	782	562	15	0	0	0	0	6,390
令和6年度(B)	510	1,055	500	621	2,165	994	817	236	0	0	0	0	6,898
(A)/(B)	35.3%	64.7%	105.8%	190.8%	113.3%	78.7%	68.8%	6.4%	-	-	-	-	92.6%

(2)利用料金収入(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度(A)	364	1,207	994	1,931	3,776	1,336	1,081	28	0	0	0	0	10,717
令和6年度(B)	957	1,764	894	1,033	3,467	1,779	1,468	203	0	0	0	0	11,565
(A)/(B)	38.0%	68.4%	111.2%	186.9%	108.9%	75.1%	73.6%	13.8%	-	-	-	-	92.7%

※1～3、5:所管課記入・4、6:指定管理者記入

7 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価記入) ※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項 目	指 定 管 理 者	所 管 課		
		評価	評価	
施設の目的に沿った管理運営	事業計画に基づいた管理運営を行った。クマの出没対策として人と動物との緩衝地帯を整備するなど健全な余暇の提供や地域の情報発信などに努め目的は達成できた。	B	協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を概ね実施したと認められる。	B
平等な利用の確保	ホームページを活用して各サイトの予約は先着順で受け付けるなど幅広い告知をして平等を確保した。	B	平等な利用を概ね確保できたと認められる。	B
利用者サービス向上の取組	ホームページによる情報提供、キャッシュレス決済の導入及びWi-Fi環境の提供やレンタル自転車の充実、ポイントによるプレゼント等のサービスに努めた。	B	利用者からのアンケート結果を基に、サービス向上に努めていると認められる。	B
自主事業	Eマウンテンバイクのレンタル、ドッグランの設置、湖畔アウトドア事業者との連携によるイベントを実施した。	B	自主事業の実施により、誘客が図られていると認められるが、更なる誘客に寄与する自主事業の展開に期待する。	B
職員・管理体制	職員については、昨年同様仕様書及び事業計画書に基づき職員配置を行った。また、社内より管理の応援体制を整え、施設の管理を実施した。	B	仕様書及び事業計画書に基づいた職員配置がなされている。	B
収支状況	縄文の森交流広場の収支は収入776千円に対し、支出は1,045千円であり、269千円の赤字となった。	B	隣接する県施設と包括的な維持管理をすることで、利益を生み出すことを期待する。	B
今年度の取組 (令和7年度)	キャッシュレス決済の導入によるサービス向上やアウトドア事業者との連携によるイベントの実施、施設外周の人と動物との緩衝地帯の整備により、安全性を高めた。		管理者独自で施設維持管理に取り組み、環境の良さが集客や利益に繋がったとみられる。	
総合評価	概ね協定書等に基づいた管理運営が実施され、オートキャンプ場全体として前年に続き黒字となった。	B	概ね仕様書等の内容通りの成果と、収支状況が伴っており、適切な管理運営が行われている。	B

〈指定管理者評価区分〉

- A: 仕様書等の内容を上回る成果であった。
 B: おおむね仕様書等の内容どおりの成果であった。
 C: 仕様書等の内容を下回る項目があった。
 D: 仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項があった。

〈所管課評価区分〉

- A: 仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われた。
 B: おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われた。
 C: 仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 D: 仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

8 制度の効果及び施設管理運営の課題

項 目	指 定 管 理 者	所 管 課
制度の効果	お客様の行動は、ほぼ以前のように回復している。天候により入込みは左右されるが、アンケート等から利用者の評価を得ていると思われる。	利用者へのサービス向上を図るなど、指定管理制度の導入による効果を期待する。
施設の管理運営の課題	施設の経年劣化に伴う老朽化により、計画的な修繕が必要である。特に縄文のやぐらの老朽化が目立ち、修繕等により安全性と景観に配慮が必要である。	計画的な更新や改修を図っていきたい。周辺樹木の伐採についてはスピード感をもって検討をしていきたい。

※7～8: 指定管理者及び所管課記入